

袖ヶ浦市音楽協会第107回定期演奏会 (個人会員部門)

ガウラコンサート vol. 14

夢の世界



2023年9月10日 (日) 13:30開演 (13:00開場)

袖ヶ浦市民会館大ホール

後援：袖ヶ浦市教育委員会 木更津市教育委員会 君津市教育委員会

ごあいさつ

袖ヶ浦市音楽協会の個人会員部門として発足したガウラコンサート。今回、第14回目のコンサートを迎えます。これも皆様方のご支援あってのことと感謝しております。

今回の特別企画は、～夢の世界～と題し、出演者全員で、“ディズニー映画”作品の中から、その挿入歌としておなじみの曲を演奏いたします。子供さんから大人までお楽しみいただけるプログラムとなっておりますので、最後までごゆっくりとお楽しみください。

袖ヶ浦市音楽協会個人会員一同

<第I部>

1. (1) 小犬のワルツ 作曲：ショパン
 - (2) 月の光 作曲：ドビュッシー
 - (3) セギディーリャ 作曲：アルベニス
- ピアノ独奏 桜井 智子

- (1) 皆さんおなじみの「小犬のワルツ」はポーランド生まれの作曲家、フレデリック・ショパンのワルツで作品64の1曲目です。恋人ジョルジュサンドが飼っていた小犬がくるくると回ったりじゃれつく様子が曲になったと言われています。
- (2) 月の光は4曲からなる「ベルガマスク組曲」の中の1曲で、美しい旋律など多くの方に愛されている名曲です。これは初期の作品で、クロード・ドビュッシーが新しい音階を確立する前の作品です。
- (3) スペインの作曲家アルベニスのフルネームは長くて、イサーク・マヌエル・フランシスコ・アルベニス・イ・パスクアル。セギディーリャはスペインの代表的な舞曲の一つで、華やかで、軽やかな3拍子の舞曲。カステネットと共に民族舞踊のフラメンコで演奏されます。

2. (1) 風の子供 作詞：竹久 夢二 作曲：中田 喜直
 - (2) なにかが、ほら 作詞：能祖 将夫 作曲：木下 牧子
 - (3) Il bacio 作詞：G・アルギーエリ 作曲：L・アルディーティ
- ソプラノ 小野寺汐莉 ピアノ伴奏 石橋 里奈

「風の子供」「なにかが、ほら」は日本語の曲です。歌詞や音楽の美しさをぜひご堪能ください。

「Il bacio」は歌曲ながら、オペラアリアのような華やかさのある曲です。“口づけ”という曲目にあるように、君以外なにもいらない！君がそばにいてくれればそれでいい！と、情熱的な曲になっています。時折出てくるカデンツァ（技巧的・即興的部分）にも注目していただけると嬉しいです。

3. (1) ミュージカル『ラ・マンチャの男』より「ラ・マンチャの男」～「見果てぬ夢」
作詞：ジョー・ダリオン 訳詞：岩谷 時子
作曲：ミッチ・レイ
 - (2) ミュージカル『キャッツ』より「メモリー」
作詞：T・S・エリオット/トレヴァー・ナン 訳詞：浅利 慶太
作曲：アンドリュー・ロイド・ウェバー
- テナー 大河原敏雄 ピアノ伴奏 鈴木 敏栄

- (1) ミュージカル「ラ・マンチャの男 Man of La Mancha」は、セルバンテスの小説『ドン・キホーテ』をもとにした作品。1965年にブロードウェイで初演されました。「見果てぬ夢」(The Impossible Dream)は、ミュージカル『ラ・マンチャの男』で歌われる劇中歌です。同曲は、劇の中盤でドン・キホーテが歌い、「見果てぬ夢を追い、かなわぬ敵と戦い、他の行かぬ道をゆく」との熱い意志が込められたコーラス部分は、ミュージカルのラストでも大合唱によって感動的に繰り返されます。
- (2) 「メモリー Memory」は、ブロードウェイミュージカル『キャッツ CATS』劇中歌。劇の中で歌うのは、かつては魅力的な猫だったグリザベラ (Grizabella)。しかし今や老いて美貌を失い、唯一残ったのは美しい思い出 (メモリー) だけ。歌詞の中には、彼女の哀しい心情が切々と歌い込まれています。

4. (1) 平城山 作詞：北見志保子 作曲：平井康三郎
 (2) Stand Alone 作詞：小山 薫同 作曲：久石 譲
 (3) オペラ『トスカ』より「歌に生き 愛に生き」 作曲：プッチーニ
 ソプラノ 梶 圭子 ピアノ伴奏 桜井 智子

- (1) 作詞者の短歌に基づいて作曲された歌です。夫の弟子に恋をして、人を恋することは実に悲しいものだと、平城山をめぐるながら詠んだ詩。その昔、仁徳天皇も恋焦がれながら越したものだという平城山の道で涙を流しました。
 (2) 2009年から2011年までにNHKで放送されたドラマ「坂の上の雲」の主題歌。明治維新から日露戦争までを描いた壮大なドラマです。ドラマは3部構成になりました。第1部はサラブライトンが母音だけのヴォカリーズで歌っていましたが、今日歌うのは第2部の森麻季が歌詞をつけて歌ったものです。Stand Alone—近代化を成し遂げた日本が凜として立つ様を表現した意味合いを持つ。
 (3) 舞台は政情不安のローマ。運命に翻弄される歌姫トスカと画家カヴァラドッシの愛と悲劇の物語です。画家は脱獄した政治囚の逃亡を助けたために死刑判決を宣告されます。トスカは彼を救おうと警視総監のスカルピアに彼の命ごいをします。うまくいかなくて絶望の中でこのアリアを歌います。

休 憩

5. ウィーンソナチネ V・VI 作曲：モーツァルト 編曲：池田 文麿

尺八 井上 喜義 箏 山村 雅子 十七絃 井上 久子

オリジナルは、二本のバセットホルンとファゴットのための「5つのディベルティメント」(1789年)であったものを、後にピアノ編曲したものです。モーツァルトの形式・構成を学ぶ最良の曲とされています。

恩師である作曲家・尺八演奏家の船川利夫先生に師事してまもなく、「どんな曲を吹きたいか」と問われて、思わず「モーツァルト」を答えたのがきっかけとなって学んだ、思い出の曲です。

今回、楽友の作曲家池田文麿さんに、尺八・箏・十七絃三重奏への編曲を依頼、この曲が誕生しました。今回初演です。(井上喜義)

<第Ⅱ部>

6. 特別企画～ディズニーの世界～ 演奏 出演者全員

- (1) 小さな世界 (イツ・ア・スモール・ワールド) …尺八 井上 喜義
 箏 山村 雅子 十七絃 井上 久子
 (2) ミッキーマウス・クラブ・マーチ…ピアノ独奏 桜井 智子
 (3) 星に願いを (ピノキオ) …歌 梶 圭子 ピアノ伴奏 桜井 智子
 (4) ホール・ニュー・ワールド (アラジン) …歌 梶 圭子 大河原敏雄
 ピアノ伴奏 鈴木 敏栄
 (5) ララルー (わんわん物語) …歌 大河原敏雄 ピアノ伴奏 鈴木 敏栄
 (6) レット・イット・ゴー (アナと雪の女王) …歌 小野寺汐莉 山村 雅子
 ピアノ伴奏 石橋 里奈
 (7) アンダー・サー・シー (リトル・マーメイド) …ピアノ独奏 石橋 里奈
 (8) スーパーカリフラジリスティックエキスペアリドーシャス (メリー・ポピンズ)
 …ピアノ伴奏 石橋 里奈



7. エンディング みんなで歌おう 指揮 小野寺汐莉 ピアノ伴奏 石橋 里奈
 光のコスモス (袖ヶ浦市民歌) 作詞：篠崎淳之介 作曲：川崎祥悦 編曲：川崎絵都夫

Profile (出演順)

桜井 智子(ピアノ):神戸女学院大学音楽学部ピアノ専攻卒業。NHKラジオ「巣立つ新人」に出演。同年本学新人演奏会出演。現在オペラ歌手、声楽家の伴奏、声楽レッスンやコンクール・コンサートの伴奏を主に務めるかたわら、弦楽器、管楽器の伴奏も行っている。習志野市在住で習志野少年少女合唱団の指導も25年余りになる。ピアノを故壺野保太郎、井上初子、元濱綾子、故山田康子、山田富士子、服部真由子の各氏に師事。声楽を高橋典子、三浦克次の各氏に師事。(賛助出演)

小野寺汐莉(ソプラノ):聖徳大学音楽学部音楽総合学科音楽教員養成コース卒業。同学部卒業演奏会出演。声楽を木村満壽美、星野行江の各氏に師事。アリエッタコンサート出演や、学校や老人ホームでのソロ演奏、千葉ロッテマリーンズ主催All for CHIBA in袖ヶ浦にて国歌を披露。かずさ声楽研究会会員。現在、君津市内中学校勤務。木更津市在住。

石橋 里奈(ピアノ):東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業、同大学大学院ピアノ科修了。ピアノを安藤久仁子、堤さお梨、迫昭嘉、弘中孝の各氏に師事。自主企画コンサートや、施設・病院でのボランティアコンサートを精力的に行っている。木更津市内にてPiacereピアノ教室主宰。かずさFM「ランチタイムガーデン」(火曜 第1.3.5週)でパーソナリティーをつとめ、番組内のコーナー『里奈のエンジョイクラシック』では楽しくクラシック音楽を紹介している。木更津市在住。

大河原敏雄(テナー):早稲田大学在学中、ボニー・ジャックスを輩出した男声合唱団グリークラブに所属。1979年スイスで開かれた「ヨーロッパ音楽祭」に参加。1986年女声合唱団“アルテリーベ”を結成し、20数年間その指導にあたった。「かずさ音楽祭」の第九の合唱指導や、近隣の小・中学校の合唱指導にも携わる。金田中学校を退職後は、岩根、周西公民館長として勤務する傍ら、近隣ホテル内チャペルでの演奏活動、いわねうたごえ喫茶等を行った。かずさFM等にて、子守唄、わらべ歌の普及活動にもあたっている。

鈴木 敏栄(ピアノ):1964年千葉県幕張出身、小学校教諭退職後、NPO法人子どもループ袖ヶ浦設立時理事として音楽ワークショップ等子育て支援活動に参加、袖ヶ浦ミュージカルアカデミー講師として作曲活動を開始。ロイヤルヒルズ木更津ビューホテルではチャペルコンサートをはじめ音楽イベント企画。現在かずさりゾート鹿野山ビューホテル支配人。地域、法人依頼のイベントに出演、木更津エンゼルアーティスト「恋の森」として活動。(賛助出演)

梶 圭子(ソプラノ):一時期女声合唱団「カリヨン」に所属、鈴木賀子先生の指導を受ける。15年前より声楽を学び始める。千葉のカルチャーでよい指導者に恵まれ現在に至る。声楽をオペラ歌手藤原歌劇団団員バスバリトン三浦克次・松本衣子・鷺海由子に師事。主に千葉と東京で活動。木更津市在住。

井上 喜義(尺八):20歳より松川利夫に師事。1976年ビクターLP合奏協奏曲「寛」収録参加。1982年NHKFMより鈴木白韻師と「越後獅子」を放送。二人のコンサート4回開催。2005年CD「夢」発売。2010年袖ヶ浦市民会館にて「松川利夫の世界」開催。2011年ブラジルイタジャイ市公演。2012、2014年安来市「松川利夫を聴く知るコンサート」特別出演。2022年「松川利夫の人と作品」を山陰中央新報社より出版。現、千葉県三曲協会、がうら邦楽合奏団代表、船川邦楽研究所尺八師範。袖ヶ浦市在住。

井上 久子(十七絃):松川利夫に師事。二人のコンサート4回。2005年CD「夢」発売。2010年袖ヶ浦市民会館にて井上喜義と「松川利夫の世界」開催。2011年イタジャイ市公演。2012、2014年安来市「松川利夫を聴く知るコンサート」特別出演。千葉県特別非常勤講師として3万人をこえる小中学生に授業。現、千葉県特別非常勤講師、がうら邦楽合奏団副代表・もみじ代表、船川邦楽研究所箏曲師範。袖ヶ浦市在住。

山村 雅子(箏):3才の頃より母から箏を学ぶ。作曲家松川利夫の薫陶をうけ育つ。中・高・大学でトランペットを吹奏。金井敬に指揮の手ほどきを受ける。同氏主催の声楽アンサンブルメンバー。声楽を広瀬奈緒に学ぶ。2012年ヴェルディ「レクイエム」オーストリア公演に参加。複協奏曲ほか松川利夫作品を多数指揮。船川邦楽研究所箏曲師範。木更津市の小学校勤務。袖ヶ浦市在住。

光のコスモス

作詞：篠崎淳之介

作曲：川崎祥悦

編曲：川崎絵都夫

花のこころ うたう ふるさと
歴史薫る 浦の朝風
海 超えて 海 超えて
あふれくる 息吹き
胸に打ち返す 潮の高鳴り
限りない 刻（とき）を連ねて
いのち 輝く コスモス 袖ヶ浦

峰を伝い うたう そよ風
光そそぐ 丘に呼ぶ声
空 駆けて 空 駆けて
こだまする ひびき
望みひとすじに 人の語らい
限りない 刻を拓いて
緑 輝く コスモス 袖ヶ浦
麗しく 人 つどう わが街
歓び ひろがる 光のふるさと